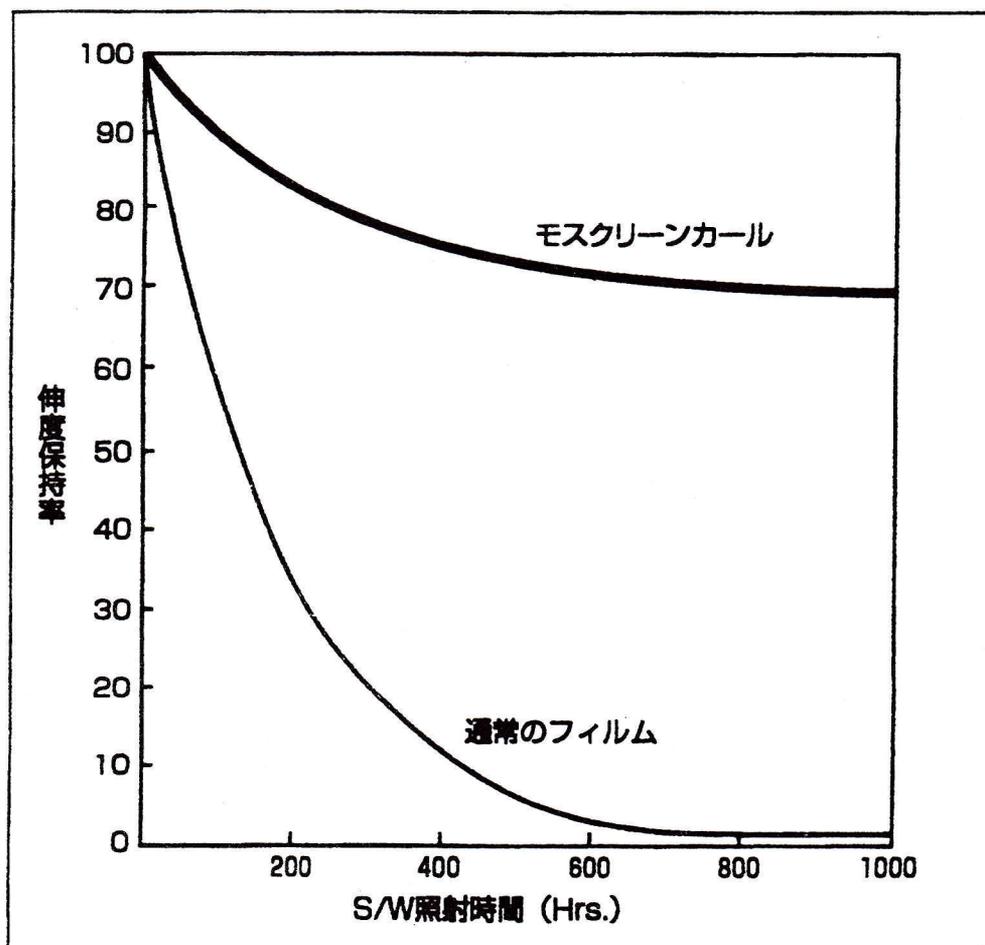


モスクリーンカール〈フィルムの耐候性〉



(テイジンテトロンHB3データ参照)

このデータは、サンシャイン/ウェザオメーターという検査方法でフィルムの耐候性能がどのように変化するかを計測したものです。

検査方法は、湿度と・温度を与え、キセノンランプなどで強力な紫外線を照射して、劣化の状態を計測したものです。

S/W照射時間は、上記の方法で検査した経過時間で、諸説がありますが、250時間～300時間を一年間と評価するのが通常です。

モスクリーン・カールの耐候性は3年から4年で初期の性能が30%ほどダウンしますが、通常のポリエステルが劣化する状態と比較すれば、その優れた性能が理解していただけると考えます。